

論語と算盤

渋沢栄一

『論語と算盤』

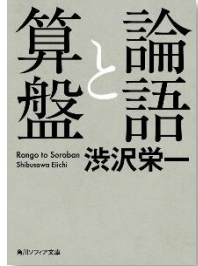
渋沢 栄一述；梶山 彬編 国書刊行会

本館	請求記号：/159/Sh21	資料ID：103990362 105816706
----	----------------	-----------------------------

『論語と算盤』

渋沢 栄一 KADOKAWA/角川ソフィア文庫

Knowledge Base	請求記号：/335.1/Sh21 [Knowledge Base展示中]	資料ID：701773954
----------------	---	----------------



経営学部准教授 宮川 宏

渋沢栄一は日本の実業界、資本主義の制度設計した人物であり、近代日本経済の父と言われています。富岡製糸場をはじめ、皆さんが知っている、思い浮かぶような銀行、企業、大学の設立にかかわった人物として有名です。

この本は、渋沢栄一が後進の企業家を育成するために、経営哲学をまとめた講話です。渋沢栄一は、論語の精神に基づいた道義と商売を行い、儲けた利益はみんなの幸せのために使うという精神を読み取ることができます。このなかの論語は中国の春秋時代末期に活躍した孔子と弟子たちの言語録で、「人はどう生きるべきか」「どのように振舞うのが人として格好よいのか」を学ぶ古典で、その卓越した内容から各国に影響を及ぼしています。

渋沢栄一が論語の教えを実業の世界に取り入れ、実業の欲望の暴走を事前に防ぐ手立てを示しています。いまでいえば、企業の社会的責任、持続可能性・SDGsの視点がすでに取り入れられています。また渋沢栄一の精神や考えは、昨今の日本を考えてみれば忘れかけられていることです。こうした先人の魂にふれることで、精神や考えを改めて問い直してみる一つのきっかけになるかもしれない。